

# I はじめに

千葉県水道局は、県内約300万人のお客様に、24時間365日安全な水を安定して届けるという重要な責務を担う事業者です。

いつでも蛇口から水道水が出るようにするために、河川などからの取水や浄水及び送配水等の過程で、電力などのエネルギー消費により環境へ負荷を与えています。

そのため、千葉県水道局では、水道水の安定的な供給という使命を損なうことなくエネルギーの消費削減を可能にする事業や廃棄物の再資源化など、環境負荷の低減に資する取り組みを進めてきました。

浄・給水場においては、省エネルギー型機器の導入や太陽光パネルを設置しているほか、幕張給水場、妙典給水場及び北船橋給水場には送水時の水量を利用したマイクロ水力発電設備を設置し、得られた電力を場内照明などの自家消費に充てるなど、クリーンエネルギーの活用を進めています。また、送配水については、布設の際に自然流下を利用した工夫をし、漏水調査と修繕等の適切な維持管理によってエネルギーロスの抑制にも努めています。さらに浄水場発生土や工事残土などの産業廃棄物は積極的に再資源化を進めるなど、様々な取り組みを通じて経営目標の一つに掲げる「環境に優しい水道」を目指しています。

本報告書は、私たちのこれまでの取り組みや実績をご理解いただくため、平成17年度から毎年発刊しているものです。

作成に当たっては、水道事業と環境とのかかわりや環境保全の取り組みを写真や図で紹介するとともに、エネルギーの消費量や排出物の量、水質の状況、環境に関する法令遵守の状況、環境保全のコストや成果などについて記述し、第三者機関による客観的な審査と保証のもと、分かりやすいものとなるよう心掛けました。

より多くの皆様にご活用いただけましたら幸いです。

私たちは、環境に配慮した持続可能な経営を推進し、これからも安全で良質なおいしい水をお客様にお届けしてまいります。

平成27年2月

千葉県水道局長 田谷 徹郎